新宿NPO協働推進センター　広報誌　2026/11

Npop'n えぬぽっぷん

VOL.161

◆X（旧Twitter）　◆Instagram　◆HP

NPO POP NEWS＝(略して)『Npop'n』
新宿ＮPO協働推進センターから、社会貢献活動に関連したPOPなNEWS(話題)をお伝えします！

支援から共創へ～協働・共創が社会課題解決のための可能性を広げる！

社会課題に取り組むNPO・市民活動団体と、それらを資金・人材・情報発信などで支援する団体・組織が、「支援する側・支援される側」という関係を超えて、それぞれの強みを持ち寄り、共に社会課題の解決を目指すパートナーとして出会い、協働・共創していくことを話し合い、参加者と交流しました。

◆登壇者/登壇団体

岡 田　奏　氏（認定NPO法人チャリティーサンタ サンタ活動プロジェクトマネージャー）

駒井 雅子 氏（特定非営利活動法人市民社会創造ファンド プログラムオフィサー）

中山 佳音 氏（KPMGコンサルティング株式会社 サスティナビリティ経営企画室 シティズンシップチーム シニアマネージャー）

◆ファシリテーター

山下　馨　氏（一般社団法人NPO協働機構 代表理事）



◉取組事例① 岡田 奏 （おかだ かな）氏

2008年に発足し、現在35都道府県48支部が活動しています。「あなたも誰かのサンタクロース」が合言葉です。ミッションは「子ども達に愛された記憶を残すこと」、ビジョンは「子どものために大人が手を取り合う社会」です。

活動には、訪問活動と通年の活動があり、家庭、ボランティア、様々な団体と関わっています。

訪問活動では、クリスマスイブに私たちのサンタが家庭を訪問します。昨年は約６万人の子どもを訪問しました。ボランティア、家庭、寄付者、幼稚園、福祉関係者、市民活動支援センターなど様々の方と一緒に活動しています。

通年の活動には「ブックサンタ」、「シェアケーキ」、「シェアシネマ」があります。ブックサンタは、連携している書店で寄付者が本を購入・寄付し、サンタが届けるものです。シェアケーキは、洋菓子店と連携してお誕生日ケーキを届ける活動です。家庭では誕生日が一番大切な日で、多くの家庭ではケーキを用意しています。これが用意できないのは非常に悲しいことです。何かしたいと思っていた洋菓子店と連携して始まりました。シェアシネマでは映画館の鑑賞チケットをプレゼントしています。身近にある日帰りでできる体験の中では映画鑑賞のニーズが一番高いことが分かり、これをもとに映画会社と連携して行っています。



岡田氏



参考資料①

連携のポイントとして次のように考えています。

1）「お願いする/される」関係から「一緒に悩む」関係。「何かできないか」との思いに「何かしたい」という思いが掛け合わさり一緒に仕組みを考えました。

2）「相手の本業のど真ん中に小さな入口を置く」。ブックサンタでは書店は本が売れ、私たちは届ける本が貰えます。お互いにメリットがあります。シェアケーキもシェアシネマも同様です。お互いの思いを話し合いながら具体的な取組みを作ってきました。

3）「届いた先に見えたことをお返しし続ける」。活動報告やメルマガなどを送っています。何度感謝しても足りないと思います。

ボランティア、企業、地域の皆さんと一緒にする時、相手が何を思っているのか、何を大事にしているのかと相手のことを思い、私たちが何を伝えていて、何ができるのかを伝え、擦り合わせていくことが「ご一緒に」になります。



参考資料②

◉取組事例②駒井 雅子（こまい まさこ）氏



駒井氏

市民社会創造ファンドは、多様な民間資金の循環を主目的にしているNPOです。助成プログラムを専門にするスタッフがいて、助成団体が実施する助成プログラムの企画・運営を行っています。位置づけとしては中間支援組織になります。

助成プログラムは市民活動を応援するものなので、社会や社会課題の変化に応じてプログラムも成長するよう5年ごとの見直しを大事にしています。特に、現場に行って見る、活動をしている人たち、企業の人たちと話合いをすることを大事にしています。活動には「個人のパッションから組織のミッションへ」という展開プロセスがあります。個人から集団(グループ)へ、集団から組織へ、そして一定の影響力のある組織へということです。自分たちがどの段階にいるのかの自覚があり、それを言葉で説明できることは仲間を増やすこと、資金調達にもつながります。



参考資料①

団体の活動の形としては、①自主的で自由度の高い活動、②集団・組織で取り組む活動、③当事者と共にある活動、④専門家による市民性の高い活動、⑤社会課題解決から始まる活動があり、必要な基盤は変わってきます。

NPOの組織基盤は、リーダーシップ力、マネジメント力、技術力、適応力の４つの組織能力に分類できますが、ミッションやビジョンの見直しは欠かせません。

団体の多くは
◉資金基盤と日々の活動が切り離して考えられている。
◉団体の強みが分かっていない、言葉にし切れていない。
◉中長期的な計画がない、または薄い。
◉団体に適した資金源の理解度が低い。
といった課題があります。



参考資料②

市民社会創造ファンドは、助成に際して組織も育つことを大事にしていますので、これらの課題に取り組んで欲しいと思います。

最後に、市民セクター、NPOは社会課題解決だけでなく、社会的価値の創造が得意なことです。自由に動けるからこそ、次の新しい価値を作れると思います。

◉取組事例③中山 佳音 （なかやま よしね）氏



中山氏

KPMGは世界4大会計事務所の一角で、日本では監査、会計、アドバイザリーの3分野、10社で構成され、本業とCSR活動の両輪で社会的インパクトの創出に取り組んでいます。KPMGコンサルティングでは、コンサルティングの手法でのNPOの課題解決の手助けから一般的なボランティアなど幅広い範囲で行っています。

当社単独では届かない多くの方とつながっていけるよう、スポーツチームに協賛しています。NPOとの関係を１対１のものからn対nに広げていくことに共創の価値があると思っています。中間支援組織とも一緒に組むことで、n対nの活動を広げていきたいと思います。経済性だけがゴールではない時代です。外部との交流で多様性が高まっていく、ビオトープのようなビジネスのあり方を目指しています。

成功したと思える事例を紹介します。

（１）ある自治体からスマートシティの計画、実証実験のコンサルティングを受けました。人口減少地域のモビリティの問題を自動運転バスで確保するというプロジェクトに、NPOの協力で難民人材を添乗員にするというアイディアを出し、２つの課題解決に取り組んでいます。

（２）クリアソン新宿のイベントの機会に一般市民の方対象にダイバーシティを考えるワークショップを開催しました。広い範囲から多くの人を集めることは単独ではできません。内容的にもクリアソン新宿と一緒にしたからこそできたと考えています。

共感者を増やす上では、取組みのインパクトの見える化、発信（インパクトレポート）は重要です。インパクトレポートには、①信頼構築、②説明責任、③パートナー獲得、④組織内の意識醸成などの意義もあります。ロジックモデルは、イベントについて、どのような成果を狙って企画したのかを明確にする意義があります。アウトカムを把握し、価値算定し、それを継続的に行うことで取組みの評価や影響等の分析が効果的になります。

社会的インパクトを創出し続けるためには、企業・NPO・地域の強味の掛け合わせ、取組みなどの見える化・共通言語化、これを通して共感の獲得、そして更なる強味の掛け合わせという好循環が必要だと思います。

◉第2部：トークセッション/交流タイム





（質問）チャリティーサンタで、企業との協働において最初の一歩として心がけていることは何ですか？

（岡田）一緒に楽しみあう関係でありたいと思っています。お話を聞いて「そういうことなら、こういうことができます」という形で一緒に取り組んでいます。

（質問）ROI（投資利益率）という物差しがありますが、ソーシャルを加えたSROIを考えると、NPOの活動は私たちが思っている以上に価値があると思います。ここに専門性のある助けがあればと思いますが何か助言はありますか？

（岡田）活動の価値や参加者の想いなど集めてきましたが、これらを生かし切れていないと思いました。

（中山）インパクトレポートの場合、数値に加えて、変えたところを見せることが大事です。サンタ活動は、12月24日という幸せなイベントで繋がれる日に、恵まれない子どもへの支援が溶け込んでいます。関わる企業は、社員に子どもたちに夢を与える役を与えられると思います。

（岡田）訪問活動は平日の午後から始まるので、ボランティアができないという声もあります。企業が関わってくれれば社員が一市民としてできることが広がると思いますが。

（駒井）企業も社員のエンゲージメントを上げようとしています。転職する社員が多い中、この企業にいるからこの社会貢献ができるのでいようと考える人もいます。NPOがやっている活動は一般化されていく基盤が整っていると思います。

（岡田）支えている側がいつ支えられる側になるかわかりません。「みんなで一緒」は大事だと思います。

（質問）助け助けられるということですが、活動への巻込み方はどうしているのでしょうか？

（駒井）団体の皆さんは、発信する、一緒に時間を過ごす、一緒に何かするなどさまざまな工夫をしているようです。

（中山）自分と関わりがあるからボランティアに参加したということが多いようです。関心は人それぞれですから、いくつかのカテゴリーを用意して参加の機会とすることが考えられます。また、企業理念としての１％モデルで、年数日の社会貢献活動を承認するというのもあります。内発的な動機と、企業のルールでハードルを下げることの両方があるとやりやすくなります。

（質問）NPOの世界で暮らしていけるだけの収入を得ることは難しいのですが、実は仕組みを作っていないだけではないか？社会の経済の中にはまっていかないといけないのではないかと思います。

（駒井）安定した資金の確保は重要な課題です。助成金で活動を拡大した場合には、「助成対象は新規事業」などというしばりで、気がつくと事業を続けていけるのか分からないということも出てきます。助成金については、種類・性格と自分たちが必要な部分とが合っているのかを考え、その上でどうしていくのがいいのかを団体の方向に応じて考えてはどうでしょうか。

聴かせて NPO!

✣ちょっと気になるNPO団体を紹介します✣

《 認定NPO法人 ACE》
～児童労働のない未来へ～

ACE（エース）は、児童労働のない、子どもの権利が守られる世界を目指して活動するNGOです。子どもの権利を奪う児童労働に対して、児童労働をしている子どもや家族、コミュニティへの支援を行いながら、児童労働を生まない社会構造を目指して企業・政府とも協働しています。

♪当センターで行われる「第209回市民とNPOの交流サロン」にご登壇いただきます♪

開催日時：2026年12月10日(木)18時45分～20時45分　※是非ご参加ください。

申込みは こちらから

参加方法：オンライン(詳細はhttps://snponet.net)
語 り 手：認定NPO法人ACE 法人連携担当
　　准認定ファンドレイザー
　　森下 早紀 氏
参 加 費：無料

主催・問合せ：一般社団法人NPO協働機構
【電　話】03-5206-6527
【E-mail】 hiroba@s-nponet.net
後援：新宿区

センターからのお知らせ

講　座

【ワークショップ講座①②】
～目的に応じたワークショップのノウハウを学ぶ～

【日　時】12月5日(土)13:00～17:00
【内　容】ワークショップは、ものづくり、会議・研修、芸術の場など様々な場所で行われています。参加者がディスカッションや作業を経て新しいものを作り出したり、問題を解決していくにはどのように進行すればよいのでしょうか？この講座では、ワークショップを実際に体験しながら、そのノウハウを学びます。
【講　師】井上 晶夫 氏(NPO法人CRファクトリーコミュニティマネジメント認定インストラクター)
【会　場】当センター 1階多目的室
【参加費】2,000円(資料代等)※オンライン参加はありません。
【定　員】会場(先着順)20名

講　座

【WordPress講座】
～WordPressでホームページを作ってみよう！（入門編）～

【日　時】12月19日(土) 13:30～15:30
【内　容】イベント周知などNPO活動にはWebの活用は欠かせません。この講座では、初心者の方を対象に、世界中で活用されている無料ホームページ制作運営ソフト WordPressを使用して、団体の広報・PR活動を拡大するためのホームページ作成の基本を、体験学習を通して学びます。
【講　師】山本 武彦 氏(NPO法人粋なまちづくり倶楽部 理事)
【会　場】当センター 501会議室
【参加費】1,000円(資料代等)※オンライン参加はありません。
【定　員】会場(先着順)20名※Wi-Fiに接続が可能なパソコンをご持参ください。

※詳細はHPにてご確認ください

★参加ご希望の方は、上記のQRコードからお申込みいただくか、下記お問合せ先へご連絡ください。
★講座・イベントは変更・延期又は中止する場合がございます。最新情報等につきましては、当センターHPをご参照ください。【URL:https://snponet.net/】

【申込みフォーム】
会場参加用　Peatix

情報・お問い合わせ

TEL：03-5386-1315　FAX：03-5386-1318
E-mail：hiroba@s-nponet.net　URL：https://snponet.net
Facebook：https://www.facebook.com/shinjuku.npo.center

アクセス

〈バスでお越しになる場合〉（いずれの停留所からも徒歩で4分）
・各線 新宿駅 西口より関東バスで「小滝橋」下車（乗車時間10分前後）
　西口地下より標柱番号12･14を上がった乗場から出るバス（すべて）
・各線 高田馬場駅 早稲田口より都バスで「小滝橋（郵便局前）」下車
　（乗車時間5分前後） 早稲田口を出て目の前、高架下の乗場
〈最寄駅から徒歩でお越しになる場合〉
・東京メトロ東西線 落合駅、西武新宿線 下落合駅より徒歩12分
・JR山手線･東京メトロ東西線･西武新宿線 高田馬場駅、JR中央線 東中野駅･大久保駅、都営大江戸線 東中野駅･中井駅より徒歩15分

作成＆発行

新宿区立新宿NPO協働推進センター
指定管理者：一般社団法人NPO協働機構（コラボ・ジャパン）
（〒169-0075　新宿区高田馬場4-36-12）
編集：関根 聡史　林 幸靖　月岡 英人



新宿NPO協働推進センターは、社会貢献活動団体のネットワークづくりの拠点施設です！
センターでは、社会貢献活動団体への施設の貸出しの他、相談や情報提供、講座等、さまざまな事業を実施しています。